

霧雨のかかる道なり。
山風のかよふ道なり。

浅間嶺にけぶり立つ見つ。
からまつのまたそのうへに。

② 作者の心情のみがうたわれている連

問三 「からまつ」という言葉が全ての連にあり、繰り返し使われている連もあることが生む効果を、後から記号で選び答えなさい。

- ア からまつの林が次第に遠ざかることを感じさせる。
イ からまつの林がどこまでも続くことを感じさせる。
ウ からまつの林が段々近づくことを感じさせる。
エ からまつの林が徐々に育っていくことを感じさせる。

五、次の古文を読み、後の問いに答えなさい。【読む・各2点】

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山際、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。

夏は夜。月の頃はさらなり、闇もなほ、螢の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くも **1** をかし。雨など降るもをかし。

秋は夕暮れ。夕日の差して山の端いと近うなりたるに、鳥の寝所へ行くとして、**4** 三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐさへあはれなり。まいて雁などの連ねたるが、いと小さく見ゆるは、いとをかし。日入り果てて、風の音、虫の音など、はた言ふべきにあらず。

(現代語訳)

春は夜明けがよい。段々白くなりゆく山際の空が少し明るくなって、紫がかつた雲が細くたなびいているのがよい。

夏は夜明けがよい。月の出ている頃は言ひまでもなく、闇夜でもやはりたくさん螢が入り乱れて飛んでいるのはいいものだ。また、ほんの二つ三つだけ、かすかに光を放ち飛んでいるのも趣がある。雨が降るのも風情がある。

秋は夕暮れがよい。夕日が照して山の端が近くなったとき、からすがねむるに三羽四羽、二羽三羽とせわしなく飛んでゆく姿にしみじみとしたものを感じる。まして、雁が連なつて飛んでゆくのが、とても小さく見えるのは、果におもしろい。日が沈み、風の音や虫の音が聞こえるのは言ひまでもなく趣深い。

問一 「**1**をかし」を、①全て平仮名で現代仮名遣いに直し、②現代語の意味を現代語訳から書き抜きなさい。【完答】

問二 「春はあけぼの」や「たなびきたる」の後にはどんな言葉が省略されているか、古文中から三字で書き抜きなさい。

問三 「鳥」と「雁」の様子を見て、筆者はどのように感じたのか、①「鳥」は五字、②「雁」は三字で古文中から書き抜きなさい。

問四 「**4**三つ四つ、二つ三つ」という書き方は、どんなことを表す効果があるか、後から記号で選び答えなさい。

- ア 鳥が思い思いに帰る様子。
イ 鳥の力強さやたくましさ。
ウ 鳥の孤独やもの悲しさ。
エ 鳥という鳥の気まぐれな習性。

問五 「秋」の段落で、聴覚を働かせた一文を探し、最初の三字を書き抜きなさい。

六、次の古文を読み、後の問いに答えなさい。【読む・各2点】

仁和寺にある法師、年寄るまで石清水を拝まざりければ、心憂く覚えて、あるとき思ひ立ちて、ただ一人、徒歩より詣でけり。極楽寺・高良などを拝みて、**3**かばかりと心得て帰りにけり。

さて、**4**かたへの人にあひて、年ごろ思ひつること、果たしはべりぬ。聞きしにも過ぎて尊くこそおはしけれ。そも、参りたる人ごとに山へ登りしは、何事かありけん、ゆかしかりしかど、**5**神へ参るこそ本意なれと思ひて、**6**山までは見ず。とぞ言ひける。

7少しのことにも、先達はあらまほしきことなり。

(現代語訳)

仁和寺にいた法師が、年を取るまで石清水八幡宮を拝んだことがなかったので、残念に思つて、あるとき思い立つて、ただ一人で、徒歩で参詣した。極楽寺や高良社などを拜んで、これだけだと思ひ込んで帰つてしまつた。

そして、仲間に向かつて、「長年願つていたことを、果たしました。(話)に聞いていたのにも勝つて尊くいりました。それにしても、参詣した人がみんな山に登つていたのは、何事があったのが、知りたかつたけれども、神に参詣することが本来の目的だと思つて、山の上までは見ませんでした。」と言つたのだつた。少しのことにも、指導者がいほほしいものである。

問一 この古文は、①いつ(時代)、②誰によって(作者)書かれたものか答えなさい。【完答】

問二 古文中から会話を示す、「**1**」が付けられるところを探し、初めと終わりの三字を書き抜きなさい。(句読点を一字に含む)

問三 **3**かばかりと心得て」とあるが、何を指して「かばかり」と言っているか、古文中から八字で書き抜きなさい。

問四 **4**かたへの人」を、①全て平仮名で現代仮名遣いに直し、②現代語の意味を現代語訳から書き抜きなさい。【完答】

問五 **5**神へ参るこそ本意なれ」について述べた文に合う言葉を①は古文中から②は四字で書き抜きなさい。【完答】

★この部分は、前の語を強調する係りの助詞() ① ()が用いられることにより文末が変化した。このような係りの助詞と文末の関係を() ② ()としよう。

問六 **6**山までは見ず」とあるが、その理由を古文中から探し、十四字で書き抜きなさい。

問七 **7**少しのことにも、先達はあらまほしきことなり。」とあるが、法師がしたどんなことに対する筆者の感想か、四十字以内で書き抜きなさい。【書く・3点】

七、次の文章を読み、後の問いに答えなさい。【読む・各2点】

①さあ、新しい問題が出てきた。人前でおなかが鳴ると恥ずかしいのは、どうしてか? 中学二年になって子供っぽい服を着ていると恥ずかしいと感じ

る。どうしてだろうか？

② もうあとはみんなそれぞれに考えてみてほしいけれど、私の考えを述べてみよう。私は、「共感」ということが鍵になると思う。おながが鳴ったときも、みんなが「そうだよなあ、おながすいたよねえ。」と共感してくれるならば、恥ずかしくはない。逆に、みんなが静かにだいな話を聞いているときに、一人だけおながが鳴って雰囲気壊しちゃったりすると、すごく恥ずかしい。これは、自分のおながが鳴ったことが、周りの人たちに共感をもって受け入れてもらえるかどうかの違いじゃないだろうか。

③ 周りの人たちの共感という観点から考えると、人が見ている前で劣等感につながる①失敗をしたときに恥ずかしくなるということも、説明できそうだ。世界記録への挑戦が失敗しても恥ずかしくないのは、みんながそれを共感をもって受け入れるからだだろう。逆に、自分の努力不足や不注意のために失敗したときには、周りの人たちに共感をもって受け入れてもらうのは無理だろうなど、私は感じる。だから、恥ずかしいのではないか。

④ もし周囲の共感を求める気持ちが強くないのであれば、恥ずかしいという気持ちも強く起こらないことになる。共感を求める気持ちが無ければ、部屋の中に一人でいるときと同じで、恥ずかしくもならない。③電車の中で化粧することを恥ずかしいと思わない人たちというのは、つまり、そういうことなのではないだろうか。

⑤ 周囲から共感をもって受け入れられていないと感じるとき、それが恥ずかしいという感情を引き起こす。④、⑥失敗ということは恥ずかしいという感情にとって、本質的なことではない。本質的なのは周囲の共感があるかどうかだ。共感があれば失敗しても恥ずかしくはないし、共感がなければ失敗していかなくても恥ずかしいと感じる。これが私のいちおうの結論になる。さて、この結論にはどのくらい説得力があるだろう。反例はないだろうか。まだ検討していないほかの考えはないだろうか。

問一 「1失敗」のA恥ずかしい例とB恥ずかしくない例について、「く失敗。」の形で簡潔に書きなさい。

問二 ③段落の役割を、後から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 前段落で提示された質問に答えている。
- イ 前段落の内容を受け、具体例を検証している。
- ウ 前段落の主張に対して、根拠を示している。
- エ 前段落から離れて、別の話題を展開している。

問三 「3電車の中で化粧することを恥ずかしいと思わない人たち」は、なぜ恥ずかしく思わないのか、「共感」という言葉を使い二十字以内で書きなさい。

問四 (4)にあてはまる接続詞を後から選び、記号で答えなさい。 ア けれど イ そして ウ ときに エ だから オ しかも

問五 「恥ずかしいという感情」は、どんなときに起こると結論づけているか。それを述べた一文を探し、初めの五文字を書き抜きなさい。

問六 「6失敗ということとは…本質的なことではない。」と言えるのはなぜか、「失敗しても」に続け、「共感」と言う言葉を使って三十字以内で書きなさい。

【書くべき点】

令和二年度 第二学年 後期中間テスト【国語科】 解答

40

2x20

44+6=50

2x22=44

組	番	
姓	名	学号
		100

①	しっぴつ	②	おろししょう	③	業	④	敵	⑤	収める
⑥	修める	⑦	訃報	⑧	究める	⑨	裁つ	⑩	諮る
⑪	ウ	⑫	工	⑬	ア	⑭	イ	⑮	ア
⑯	ウ	⑰	イ	⑱	ア	⑲	イ	⑳	ア
㉑	イ	㉒	第六連	㉓	第八連	㉔	イ		
㉕	をかし	㉖	趣がある	㉗	をかし	㉘	あはれなり		
㉙	をかし	㉚	ア	㉛	日入り				
㉜	鎌倉時代	㉝	兼好法師	㉞	年ごろ	㉟	見ず。		
㊱	極楽寺	㊲	高良など	㊳	かたえのひと	㊴	仲間		
㊵	こそ	㊶	係り結び	㊷	神へ参るこそ本意なれと思ひて				
㊸	極楽寺・高良などだけを拜んで、本来の目的だった石清水を								
㊹	拝まずに帰ってきたこと。③								
㊺	A (例)努力不足や不注意による 失敗 。	B	(例)世界記録への挑戦の 失敗 。						
㊻	イ	㊼	共感を求める気持ち	㊽	皆無だから。				
㊾	工	㊿	周囲から共感を		もって受け入れら				
㋀	周囲から共	㋁	れれば恥ずかしくないから。③						

八、条件にしたがって書く作文問題です。解答用紙の裏に問題があるので忘れずに解答しましょう。

八、あなたは、「自分の選んだ今年の漢字一字」についてクラスで発表をすることになった。あなたの考え、後の条件にしたがって書きなさい。【書く・各2点】

(注意事項)

- 条件1 **二段落構成**で、一段落目には、あなたが考える「今年の漢字一字」が何か書くこと。
- 条件2 二段落目には、なぜその漢字を選んだのか、理由やそれまつわる自分の体験を書くこと。
- 条件3 句読点や記号も一字として考え、二百字以内で書くこと。(最低八割は書く。)
- 条件4 文体は**常体(だ、とある。)**で統一して書くこと。
- 条件5 **誤字脱字**、**文法的な間違いなく**、**正しい原稿用紙**の使い方で書くこと。

条件1	条件2	条件3	条件4	条件5	各2点10点	得点
2	2	2	2	2		10

私が考える今年の漢字一字は、「絆」だ。
 今年は、コロナウイルスによりストレスが
 にまっしてしまいうことが多か、たがそんな中で
 も楽しく生活できたのは周囲との絆だと思っ
 たらだ。友達との絆があるおかげで前を何い
 て頑張れるし、この苦しいじきをのり越えら
 れる。そして、今は国や世界がこの状況をど
 うにかしようと協力している。だから、今年
 を漢字一字で表すなら「絆」だと私は考える。

20×10

160

200